



組織の維持

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

今年も六月から九月まで矢のように過ぎた。秋の夜空の星を見ながら古希を迎えた思いを綴ってみました。

こざくらの会の活動に参加したきっかけは前号に書きましたが、初代代表森元さん、二代目代表内田さんが亡くなりました。そして三代目の紅葉山に住んでいる本城昭一さんが先月（九月）七日亡くなりました。本城さんは当時の夕張営林署に勤務されていましたが、こざくらの会に入ったときはすでに退職していましたが、高山植物、樹木、化石などに非常に精通した人でした。北海道盗掘ネットワークの設立のきっかけになった、恵庭のおばさんによる大量盗掘事件があった時の種の判定をした人です。秋の花のない枯草の状態で種の判定をするのは、至難の業だと思えます。本城さんの遺影は夕張岳の山頂で写したもので、腕に文化財調査委員の腕章をしていて、実にすがすがしい姿でした。冥福を祈ります。ところで本城さんの次が梅木さんである。そして私ですが、十年が過ぎました。歴代一番長い代表です。会には強引に引く張るリーダーが必要な時があると

第110号

2019.10.10 発行

(令和元年)

ユウパリコザクラの会

事務局

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

TEL/FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

https://www.facebook.com/yuparikozakura/



https://www.facebook.com/yuparikozakura/

思う。しかし三十年過ぎた今は、課題はたくさんあるが、成熟した会になったと思う。一人の人が長く代表をしているといういろいろなひずみが出て、不協和音が聞こえるようになってきた。これは当たり前のこと、皆さん多様な考えを持っていて、会が突っ走っていた時は出なかったが、今多様な思いが出てきたと思う。会の根本的な理念は、夕張岳の自然保護と思う。誰のために活動しているのではない。意にそぐわないことがあってもこの理念に戻れば克服できるのではないだろうか。意思疎通の話し合いがもっと必要と思う。

前岳湿原の重複木道の整理&植生回復

プロジェクトに着手します (予定)

前岳湿原付近に木道が重複して設置されている区間があります。最後に設置された環境庁(当時)の木道を含めて、場所によっては3本の木道が並列にひかれています。しかし湿原という場所の特異性もあり、古い木道のほとんどは朽ち果てていて、土中に埋もれたものや破損して足場としては危険なものもあり、いつかのタイミングで、整理する必要があります。木道があった場所は、かつては高山植物



前岳湿原入口付近の木道。(10年前の写真)ここからしばらく数種類の重複部分が続く。周辺は道立自然公園の第1種特別地域となっており、国の天然記念物指定がされている。

が生育していた場所であり、少なからずとも木道の設置によって、裸地化を招き、笹の侵入などを促進してしまつた状況にもなっています。来年度から2年のスケジュールで、この重複木道の整理と、それが終了した後には植生の回復を狙った養生の処置を計画します。まず一年目には木道の整理計画を立て、アセスメントをして現地での解体作業と、解体された木道を小サイズに切断、現場ストックします。一般登山者の安全な歩行を確保するとともに、下山の際に、専用の袋に入れて登山口まで下げてもらう作業を協力していただく計画です。2年目には、木道の複線化で広がってしまった箇所を、状況別に専門家による植生の復元のためのアドバイスを心得、失われた植生の復元を図っていきたいと考えています。本来であれば、木道を設置した関係区が主体となって事業を計画・推進すべきであると思いますが、いざ実行するとなると、なかなか容易でないというのが実情のようです。今回は2年間の計画に助成も付きましたので、まずは着手し、スタートをしたいと思います。

北海道希少野生動物植物種調査等委託業務に係る調査への同行

令和元年7月28日、前日から夕張岳ヒュッテに宿泊してパトロール準備に備える。本来であれば、前日の土曜日実行の予定であったが、大雨雷注意報も出ていたこともあって28日に延期しました。

今回は、令和元年度北海道希少野生動物植物種調査等委託業務に係る調査への同行で、北海道環境局生物多様性保全課生物多様性戦略グループ2名と、地方独立行政法人北海道立総合研究機構の方1名・コザクラの会2名の合計5名にて調査に入りました。普段のパトロールではなかなか入れない調査区にも入り、貴重な種の調査もできました。

道内に生息・生育する希少野生動物植物種に関する定期的な調査を実施していますが、夕張岳においては指定希少種の以下の7種の植物に対する調査を行いました。

- ・シソバキスミレ
- ・ユウバリコザクラ
- ・ユバリソウ
- ・タカネエゾムギ
- ・エゾコウボウ
- ・ユウバリクモマゲサ
- ・エゾノクモマゲサ

【調査区】
 ・ガマ岩・ガマ岩東側崩壊地・吹き通し・第2崩壊地

【調査法】
 ・2m×2m、5m×5mで仕切った場所の開花株、非開花株のカウント。

・エゾコウボウにおいては、出現割合数を計測。ガマ岩の崩壊地と岩壁の調査区へ移動する。写真で見ると前回の2016年調査時よりも崩壊が激しく、数年前に防鹿柵を設置した箇所にあった固有種の群落が完全に消滅していた。ガマ岩近辺は希少固有種が多いが、岩の崩壊が激しくもあり今回のように数年で一変してしまうケースもある。該当固有種については、全

体でも20前後と非常に少ない。また他の固有種についても肉眼で確認できる箇所については、数株しかない状況であった。

その他の調査区では、概ね前回調査通りのカウント数であった。通常のパトロールでは登山道から外れてはなかなか歩けないが、今回については、普段あまり確認ができないの夕張岳の代表的な固有種も多く確認することができた。どこの調査ポイントも非常にデリケートな地表であり、歩く際にもなるべく石伝いに移動し、当然であるが植物を踏むことがないように配慮しなければならぬ。今回の調査ポイントについては、登山道からも見える場所にあり一般登山者の手前、高



未開花の株の観測地点で固有種の開花状況と未開花の株のカウント作業を行う

山植物パトロールの腕章を付けて入山したが、次回からはそれに付加して「調査」の看板を設置して調査をした。

文化庁・北海道教育委員会との天然記念物調査同行

令和元年8月11日、個人的には4週連続の登山となる。10日の前泊時は雨のち曇りの天気で、翌日の調査日は曇りの予報である。

今回のパトロール調査は、天然記念物の調査同行で、文化庁天然記念物部門 文化財調査官の田中厚志さん、北海道教育庁文化財・博物館課文化財保護グループの村本周三さんを、高山



雪田地帯での植生の確認を行う

植生が専門の北海道大学名誉教授の佐藤謙生が現状の確認の為に案内をするという事で、コザクラの会からも5名が同行登山をした。今回のポイントは2か所、吹き通しから西

方向の雪田地帯に連なる蛇紋岩崩壊地の植生状況の確認。もう1ヶ所はがま岩周辺の希少種の植生状況の確認である。まずは、最初の目的地である吹き通しを目指す。おおよそ3時間半くらいで到着する。途中に前回調査した固有種の群落調査ポイントがある。いずれも開花は終了していました。30センチ〜1mほどの岩の崩落地帯に出る。一帯は鹿道も多く又々場などの跡もあり、普段から多く利用されているようである。さらに何度か鹿道のブッシュを抜けて、雪田地帯の最深部になると2週間くらい前まで積雪があったような場所では、春先に見る高山植物が開花を始めたばかりであった。

ガマ岩に移動する。緑色片岩特有の希少種が多いが、人間が近づくには過酷な状況である。一番危険なのは、上部からの落石であり、小さな小石でも大けがになる可能性がある。このポイントでは次回調査からはヘルメット持参としたい。崩落で埋まった植生は長い時間をかけて復生する可能性もあるが、崩落も年々続いているので継続確認が必要である。



「夕張岳の蛇紋岩」の話を聞く参加者。今回は先生がいろいろな石のサンプルを持ってきてくれました。この後ヒュッテ内のスライド上映もあり、石の顕微鏡写真などを鑑賞しました。

第3回自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業
「記憶に残そうとつくるまつの山」

令和元年7月20日(土)～21日(日) 第3回 自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業「記憶に残そうとつくるまつの山」を実施しました。第3期目の今年は、参加者+スタッフ総勢39名で行われました。

この週はしばらく曇りや雨が続き、土曜日に入ってもぐずついた天気で、ヒュッテ周辺の野外観察や川遊びができるかどうかがかかりがありました。何とか天気はもってくれて、外遊びもできる天候になりました。

例年はコースター作りを行っていましたが、今年度は小学生以下の子供の人数分の木版を



参加した子ども達に書いてもらった「環境標語」の看板。翌日書いた子供たちによって登山道に設置してもらいました。

用意して「環境標語」を描いてもらい、翌日の登山時に登山道脇に吊るすところまで行いました。夕食の前に行われた山の先生のお話として、「夕張岳の蛇紋岩」の話を石のサンプルやスライドを見ながらの学習会が約1時間行われ、保護者の大人も方々も聞き入っていました。

翌朝は曇り状況でしたが、分岐手前では一瞬青空も見え雨の心配はなくなりました。前日に準備した「環境標語」を描いた木版を登山者から見えやすい登山道の脇の木々にくりつけました。中間点先の憩いの沢にて頂上を目指す班とマイペースで行く班の2班に分けて、それぞれ登山のサポートも2つに分かれました。小学校1年生の男の子含む頂上を目指した班は全員無事頂上まで上がりマイペース班と交互しなが



山頂での記念スナップ。小学校1年生を含むほとんどの参加者の皆さんが無事頂上まで上がることができました。天候はイマイチでしたが、気持ちが晴れやかなのは感じられました。



すきな場所に看板を設置します。

した。

例年、夏の行事が続く時期は子供たちも親たちも忙しい時期で、毎年参加メンバーの招集には苦労することが多いですが、地元の大自然を感じてもらえる大事な時間を提供できたと思います。今年もゆうばり小学校の5年生も体験登山にきているので、少しずつでも裾野を広げていきたいと考えています。

下山し、無事登山を終えました。子供たちは、登山を終えても元気がいっぱい飽きずに川遊びを楽しんでいました。下山後は恒例の「流しそうめん」を全員で堪能し、小腹を満たし帰路につきま

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
10	5（土）～6（日）	ヒュッテ冬囲い準備
	12（土）～14（日）	ヒュッテ冬囲い
	19（土）～20（日）	空知3団体、北海道自然保護連合交流
11	9（土）	高山植物保護ネット市民フォーラム 13:30 北大環境科学院 D201 教室
12	28（土）～29（日）	ヒュッテ巡視（予定）
1	25（土）～26（日）	ヒュッテ雪下ろし（予定）
2	22（土）～23（日）	ヒュッテ雪下ろし（予定）
3	20（金）～22（日）	春山パトロール（予定）

2020年度卓上カレンダー
購入申し込み受付中



来年のカレンダーは色々な季節・場所から撮影した「夕張岳」を12か月集めてみました。（予価600円）コザクラの会ホームページから申し込み可能です。

30周年記念誌はホームページから
購入申し込みができます

30周年記念誌「夕張岳 大いなる自然 ～その魅力を訪ねて～」(定価1500円)をコザクラの会ホームページから申し込み可能です。

<http://yuparikozakura.org/>

お電話での申し込みは以下までお願い致します。

TEL 080-6090-1839 事務局 菊地まで



A5サイズ オールカラー 208P
専門家の先生の執筆による地質、森、植物、鳥類、昆虫など多角的に解説、炭都夕張の歴史や登山情報なども網羅しています。夕張岳の標高別の花のライブラリは必見。
送料込 ¥1,620



炊事棟の五右衛門風呂への入り口戸とステップ。宿泊者専用の入り口となる。



ヒュッテ北側についた非常用の階段と、1階のテラス。

炊事棟内のスタッ
控室を通る必要があ
りましたが、気兼ね
なく出入りが可能に
なりました。五右衛
門風呂は、必ず入れ
る保証はありませ
んが、宿泊者には大
変好評です。

2013年に新ヒュッテでの宿泊を開始して以来、早くも6年が経過しようとしています。毎年のように部分的な改築を経ましたが、ここ数年は炊事棟の建築開始によって、多くは炊事棟の建設に注力するようになっていっています。今年はヒュッテの北側に2階非常口からの非常階段と1階部分にテラスの増築を行っています。2階部分は現在客室としては使用しておりませんが、混雑時の関係者メンバーの控え場所や季節行事用の大物の備品庫として使用しています。また、炊事棟には宿泊者が五右衛門風呂を利用するための出入り口ができました。出入り口ができる前は、

ヒュッテ建設の進捗状況など

会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

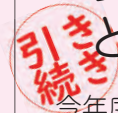
ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物学芸員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理
と炊事棟建設にご支援を！



今年度の宿泊営業も終了して、ヒュッテに設置してある4個の募金箱の集計を行いました。募金は45,968円ありました。

9月の管理人不在時の宿泊協力金や「夕張岳の花々」や「夕張岳ガイドマップ」の頒布金も一部入っておりますが、ほとんどが純粋な募金だと思います。来年度の活動の一部に使わせていただきます。ありがとうございました。

名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会

ゆうちょ口座：02750-6-97634